

【NEWS RELEASE】

2026 年 10 月 8 日

SMBC日興証券株式会社

「高専インカレチャレンジ第八弾」を開催
次世代を担う高専生、持続可能な健康建築の実現に向け革新的なソリューションを提案



SMBC日興証券株式会社(以下「当社」)は、株式会社竹中工務店(以下「竹中工務店」)の協賛により、10月3日、全国の高等専門学校(以下「高専」)の学生が企業等の持つリアルな課題解決に挑み、社会実装に向けたアイデア出しを行うイノベーションチャレンジ「高専インカレチャレンジ第八弾」(以下「本チャレンジ」)の最終審査会を実施しました。竹中工務店は、産官学をはじめとするさまざまな主体との共創を推進するオープンイノベーション推進拠点「COT-Lab®」※1の活動の一環として、本チャレンジに課題提供企業として参画しました。

本チャレンジは、2026年8月18日に開幕し、全日程オンラインで開催しました。全国から20名の高専生が参加、異なる高専の学生が6チームに分かれ、起業家を中心とする高専卒業生のメンターから助言を受けながらアイデアを競い合いました。竹中工務店が提唱する「健康建築」をテーマに、3つのカテゴリーの中から一つを選び、身体的・精神的・社会的な健康を持続的に実現する建築やまちの新たなアイデアをチームごとに提案しました。

最終審査会では、竹中工務店の技術本部イノベーション推進グループ長、同本部専門役、技術研究所主任研究員、CO-CREATION TAKENAKA Lab.(COT-Lab®)代表で構成された審査員団に対して、竹中工務店が抱える課題を的確に捉えた、斬新なアイデアが各チームから発表されました。高専生ならではの技術力と創造力を生かし、実現可能性や実用性を備えた、社会実装を見据えた提案が披露されました。

審査の結果、最優秀賞には、「IKOTTO」を提案した函館高専、広島商船高専、宇部高専のチームが選ばれました。このサービスは、商業施設でウォーキングや買い物などを一緒に楽しみたい人をつなぎ、マッチングや活動に応じて商業施設で利用できるポイントを付与するサービスです。利用者の交流や健康づくりに加え、商業施設にとっても利用者ニーズの把握につながる点、実際にアプリのトライアルまで実装した点が高く評価されました。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券

優秀賞には、電気を生み出すゲーム施設「POWER PLAY」を提案した一関高専、小山高専、宇部高専のチームが選ばれました。ゲームを通じて幅広い世代が楽しみながら運動不足の解消を目指すだけでなく、発電した電気を商業施設の季節イベントやイルミネーションに活用し、来館者の増加や地域活性化につなげることを目指します。高専生らしい斬新でユニークな発想が高く評価されました。

特別賞には、商業施設内に仮眠スペースを設けるサービス「すびいす」を提案した八戸高専、仙台高専、宇部高専のチームが選ばれました。家族で外出中の父親を主な対象に、家族が買い物をしている間に短時間の休息を取れる環境を提供します。商業施設内の店舗の商品やグッズを仮眠スペースで体験できる仕組みも取り入れ、利用者とテナント双方に新たな価値を創出します。具体的な利用者像や料金を設定し、事業としての実現可能性まで踏まえて提案した点が高く評価されました。

また、今回のプログラムでは成果発表会の参加者全員が投票できる「Audience 賞」を新設し、優秀賞と同じく「POWER PLAY」を提案したチームが受賞しました。参加者からは「ぜひこのサービスが実現したら利用したい」といった声が多数寄せられました。

当社は高専の卒業生を新卒採用の募集対象とし、給与等の処遇についても大卒と同等で募集を開始しています※²。今後も全国の高専および高専卒業生との連携を深め、高専生の活躍の機会を創出するとともに、地域密着かつ専門性の高いユニークな技術教育カリキュラムを持つ高専生をより一層支援してまいります。

※1 COT-Lab®については[こちら](#)

※2 高専卒業生の新卒採用募集開始のプレスリリースは[こちら](#)

以 上

【各社概要】

■株式会社竹中工務店について

法人名 : 株式会社竹中工務店

代表者 : 取締役社長 丁野 成人

所在地 : 大阪市中央区

事業 : 建築工事及び土木工事に関する請負、設計及び監理、他

Website : <https://www.takenaka.co.jp/>

■SMBC日興証券株式会社について

社名 : SMBC日興証券株式会社

代表者 : 取締役社長CEO(代表取締役) 吉岡 秀二

所在地 : 東京都千代田区

事業 : 金融商品取引業

Website : <https://www.smbcnikko.co.jp/>